



2132  
4



4  
2132  
4

寸南破良意

又  
里  
海  
序

主人藏



25

序  
里  
力  
力  
力

北里連南海深東川

流ナカレ西山タカシ高各遊所タリ爰ニ

近頃アラタニ新一場築埋地ラ

號呼テ蒟蒻嶋シト然後家ニ

建軒並テ嶋守集ニ此所ニ

2132  
4

又  
奈里  
總  
海  
亭

主人藏

醉舍



25

序  
里  
々  
カ  
シ  
ア  
タ

北里連南海深東川

流ナカレ西山高各遊所爰タリ

近頃新アフタニ一場築埋地ヲ

號呼テ菡萏嶋シ然ト後家ニ

建軒並テ嶋守集此所ニ

構茶店美給女數多  
抱置諸客點茶饗應  
故此遊樓增日盛夜  
繁榮就中若輩是賞  
翫彼戲翦玉例被欺  
誑言延鼻毛垂津頤

寸會交重度時主親  
悉雖是制不顧禁言  
逆耳猶募心不得止  
隱忍通行是皆所致  
血壯於爰打或冠亦  
後橫根云種物杯生

苦痛至此節雖後悔  
有<sup>シヤ</sup>其<sup>ル</sup>歸<sup>スル</sup>哉<sup>ヲ</sup>予<sup>モ</sup>好<sup>シ</sup>人<sup>ノ</sup>任<sup>ス</sup>  
誘<sup>レ</sup>引<sup>ニ</sup>暫<sup>ク</sup>遊<sup>ブ</sup>頗<sup>ク</sup>盡<sup>ス</sup>仍<sup>チ</sup>綴<sup>テ</sup>  
此<sup>ノ</sup>書<sup>ヲ</sup>題<sup>シ</sup>寸<sup>ノ</sup>南<sup>ノ</sup>破<sup>レ</sup>良<sup>ノ</sup>意<sup>ト</sup>  
懺<sup>ム</sup>悔<sup>ム</sup>不<sup>レ</sup>詳<sup>ク</sup>通<sup>シ</sup>人<sup>ノ</sup>莫<sup>ク</sup>笑<sup>フ</sup>  
爾云云

東陽流人片自云

未

南鐐堂一片自序



未<sup>ニ</sup>仲夏年

安永四乙未年仲夏年

七十五年前ノ洒落控卷

誕生之前年也 年

モクロク

子ンキモノ イチザ ち所

シンゴガ 由 ハントウカブセ

シヨクニシイ ムスコカブカブ

キヨイ テダイ ぬ

カニユヒ 林 物めえ

ふん奉季者 まんだ



ふか〜面ユヅ 針糸浪一まいたくハ今夜を  
内の首尾より〜置下り心志〜廻りの髪結の事と  
侍の進示とたけりて髪と結海湯小入仕着せの松坂  
浴と着か(ま)せらるゝぬだを入やど。君へやうみそださ  
一時ニ子この指いと森見城ろの〜と産と志めるや  
いお夜會も〜く〜らの首尾らりほ〜い息  
くあつとらよあて行

引小女

居終ちて

奉季者

コウ 長月

漕こりんどの小女こびつりしておるに居るん久かこさん

小女こいませれ久ゆる久あかん久

そん久あかん久あかん久あかん久

こるやにわこまをみけの極とさし新かこみかを種つきのわ  
せふわうアんでこのりんをちすの極よりあぬりの敵ひおさけり  
かしては後のあるとさし久あかん久あかん久アイ久ア久サ久カ久  
うアアとあけておとささか久あかん久あかん久

フウ久さん久あかん久あかん久あかん久

ど久あかん久連つれてびつりてらん久あかん久あかん久

どこでもいふ久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久

あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久あかん久





おろりやん しきざつと **久** さつと **カ** しきざつと

やん カ **久** カ **カ** カ **カ** カ

おん カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

今 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

あり カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

に カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

ぞん カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

いく カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

お カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

おん カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

の カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

ま カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

お カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

お カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

お カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

お カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

女 カ **カ** カ **カ** カ **カ** カ

久口つくり帰るやあけりるとあき 女 きはにいびつり  
 一よりぶごらんあむがゆるめんすちつといいれ  
 どご（遠）あろふいし おまふ人多  
 かく入やいひある久口ぶす男 あてい  
 いらせも成ませ 女 はてら小よ。  
くさく

一 塵いらざ

くるふ返除乃周か一犬の際坊と来てあ  
 かりしつ耐肉小居るハまきほいびとサア今かつ濃更

との所ハざとご定せしと奉願で隠し春の二を  
 い梅垣ですめかける坂田屋の合を清として休反  
 腰もするぼふれをたがまてる志くちもがらる  
 与分その清井屋の定せはいおわサ志り  
 小のちつと帳合れはけが合何の子つとぶん  
 ぶせく定ッテせと二人合ムニヤ横何の  
 浦部屋あれ浪人入末次もゆかといつと定合  
 末もらんあつと人よばかくいさるを合あら  
あひる糸あつと 合 入 サ ア く や く そ く の サ ア ら い く  
あらうとをとれ

末 命とが、ア、祓禊して居るりの事。定先生も坊主

定 ヲサとぞうく、びいでぞうまの事。末 さんちの

しゝるゝくしゝるゝく 定 イヤアめりりにうつことガスにておるる

しゝるゝくしゝるゝく 四方のいゝ事。命をひかりといふ

ゆんご末何ぞぞうくしゝるゝく、安くしゝるゝく

と、二人つれをいふ、定 命の事を。命をひかりといふ

命 二人つれをいふ、定 命の事を。命をひかりといふ

でも、びくと思つて、命 ム、おるやど、鬼 としゝるゝく

命をひかりをいふ、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かゝるゝく、命 としゝるゝく、命 としゝるゝく

かこさんおのり。何時ぞか **カ** 考ふはあつてごぶら考ふる  
でもおもしろいぞごぶら考ふる いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
ぬとねのひきまこと **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
うらなはちやう **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
のひらびびごすく **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
まぐら **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
おげん **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
大いなの **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
肉 **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
おい **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
へ **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび

し **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
二 **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
ア **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
つ **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
家 **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
は **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
ふ **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
**カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
よ **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび  
と **カ** いらいおのりしつまるまきと  
こころけれおんとしてあそび



かこさんまへ一とくしつせむとバリヤヤヤへ千五イサイ  
ハリウカ定 ヲツトあぐれく 金のむともく  
更女は人出らぬら女背くけるおげんお母おのりお作  
とあしびウ客は人の影とあつくと見る金盡とりせんせ  
経イヤく 暫公くくく ひと かの 経さんく  
お呪ごのふごぞくせふ 金 今が影と 金 くれりし  
○ 経のむまゆしておげんくすすお ね次まより金定  
末と何まもゆまきさく 後つて 経風ふか末麻  
せして 末 コレく 定ふも是かあるうとあまのまらへ  
おしてふふ後してひひりう花の上ふを 女は くれりし後と  
いつてもお後とと投扇のはさあア 女は ヲツト 山あ  
らしく 定 サア はまきぶーでいこころくても

ふ(う)女はたよりーめんーおんまらじざり記せんすか  
女 モレとあくも 女 茶漬とよりませんく 女 白更の  
らしく 女 腹よりら来る金 今 何ぞ 白更の  
モウ子知来ちやアい 後何ぞきくもきも古い  
やうよまうー 経え生をどハ切りふおとせん  
金 経 何と 何と 何と 何と 何と 何と 何と 何と 何と 何と  
あけせぬ 定 何ぞおうーくらやこそくともわ  
ろつらへおとして何ぞらあ氣ハ 金 金 金 金 金 金 金 金 金 金  
さんく 経 何と 何と 何と 何と 何と 何と 何と 何と 何と 何と

あつちんぢらんまんーし、女、は、あ、く、流、流、猫、と、見、る

はげ作、ぶ、下、の、ヤ、レ、に、ま、ま、し、め、り、合、油、を、も、持、込、金、コウ、も、ら、し、ワ、と、大、キ、ク、あ、の、

あ、し、ひ、し、り 子、モ、い、い、ら、ふ、女、サ、ア、

も、バ、ク、あ、ん、、モ、、あ、ぬ、だ、こ、と、、ワ、ク、

だ、く、と、や、ら、の、あ、ぬ、だ、こ、入、ワ、ク、、ワ、ク、、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、、未、何、と、が、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

の、ま、、上、、ま、ま、ま、ま、ま、ま、、未、

ま、ま、ま、ま、、店、、ら、、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

大、川、で、ど、て、ま、ま、ま、ま、、未、

ま、ま、ま、ま、、男、、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

あ、ら、ま、ま、ま、ま、、未、

ま、ま、ま、ま、、未、、あ、ぬ、だ、こ、と、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、、令、、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

あ、ん、、ま、ま、













伊豆山  
十月廿四

十月廿四

押はくいの木下ん病家もすべて仕病なり 伴以 色つと色さ  
かへぎいできいもとさし火をらして候く

や **おせら** ろろろ女 **おせら** とサア山体いんー 伴以 色つと色さ  
いろおせん

小浦のりりりすもその **おせら** ー 松と久を伴以 松と  
くおこの松ニおせおせて

くるおせらだをこと紙よひ移つておせて火入子火つかいおん  
どしてよもおせらまぐ二ぞく吸まこはのてかおておる伴以 おて

す **おせら** 候おんの中へりー 江戸たのいおせらよ 伴以 おんご  
はりおん

**おせら** いろそむいおせらくくおせらどさすりつてらん色  
おせら

伴以 江戸屋まーいおせら **おせら** ぞりもくもおせら  
おせら

成事本なるろろろおせらくくおせらでこおせらおせら  
おせら

こ **おせら** 伴以 いろおせら **おせら** ぞら白うさ 伴以 候きつておせら  
おせら



何れもいふまゝにして無にあらん事といふこと  
略とせざるを代りふきひせしむ所ハヤア  
いつてやういふ所おせらフウ何れでもなまの浦おし  
まらちくハ又ころうと若しいふおまもおせ  
アまその中よきことあるのまあのまの事  
出る所おせらの所はでのばらこふおせ  
ガの紙わの所ちくぢらうころうがわてのあつら  
切みとよきことおまらあハ紙くしの  
事のあまおわまらてきことのおまらて

あはれハをまらうこと名ハ表指人いくしよま  
切はふよまらうのムニヤリいふまら園おせら  
何まらぬがよりふを指おせらたまらて名えし  
モウわつらが極かけ紙のハ紙ハまけまらハ  
ごうで自腹でも切ら紙りまわら紙くしの物  
おせらごまらうの。はあんの所でけりか  
思つてめる。おせらおせらさんぞらちとびいて  
お前の髪ハごらまらうてりころおせらムニヤ  
ころちうてせころいふおせらムニヤ



仲久々なりくも  
きつてえんまうさう

# 職人

又よく 唐天額(らうてんがく)らんざう 襖(うす)の茶登(ちやのぼり)木田(きでん)  
びろろじのほげけ 敷布(ふし)の布子(ぬい)小孫(こまご)ちの事  
未刻(みく)時(とき)のひぢらうんの下(した)事(こと)とんまそくまらけ

大五(だいご)ぶあご(小)か(小)子(こ)は(は)く(小)女(にょ) 子(こ)モ 子(こ) 襖(うす)する(す)襖(うす)よ

大五(だいご)何(なに)ぶ(ぶ)する(す)襖(うす)の(の)す(す)い(い)こ(こ)み(み)と(と)戸(と)ぢ(ぢ)り(り)と(と)や(や)ア(ア)る(る)ま(ま)ー(ー)  
ヨウ(ヨウ)の(の)ひ(ひ)ら(ら)る(る)小(小)女(にょ)何(なに)ぶ(ぶ) 大五(だいご)ち(ち)ら(ら)し(し)こ(こ)ん(ん)て(て)家(家)て

よそられ 小女(こにょ) 後(ご)へ 大五(だいご)も(も)申(まを)は(は)る(る)コウ(コウ) 小孫(こまご)の(の)事(こと) 大五(だいご) 子(こ) 子(こ) 子(こ)

すふか(すふか)事(こと)とい(とい)ぶ(ぶ)く(く)ぶ(ぶ)との(の)ひ(ひ)風(かぜ)久(く) 大五(だいご)ち(ち)ら(ら)や(や)ア(ア)ぐ(ぐ)れ  
あ(あ)く(く)い(い)け(け)し(し)さ(さ)り(り) ね(ね)ど(ど)や(や)襖(うす)ぎ(ぎ)つ(つ)い(い)ま(ま)ご(ご)つ(つ)き(き) 小(小)女(にょ)の(の) 子(こ)の(の) 子(こ)の(の)

せ(せ)じ(じ)の(の)中(な)か(か)ま(ま)う(う)く(く)何(なに)ご(ご)だ(だ)き(き)か(か) 新(にい)ご(ご)木(き)枕(まくら)小(こ)孫(まご)と(と)ら(ら)る(る)襖(うす)ご(ご)  
ゆ(ゆ)との(の)ぞ(ぞ)い(い)て(て)い(い)り(り) 大五(だいご)ち(ち)ら(ら)る(る) 女(にょ)を(を)お(お)お(お) びん(びん)切(き)り(り)づ(づ)ら(ら)る(る)の(の)競(きよ)風(かぜ) 大五(だいご)ち(ち)ら(ら)る(る)て(て) 子(こ)の(の) 子(こ)の(の)

大五(だいご)小(こ)使(し)子(こ)が(が)長(なが)い(い)小(こ)用(よう)ご(ご)の(の) 大五(だいご)オ(オ)キ(キ)ア(ア)年(ねん)ご(ご) 大五(だいご) 子(こ) 子(こ) 子(こ)

ぞ(ぞ)う(う)つ(つ)ま(ま)で(で)あ(あ)る(る)ま(ま)る(る)事(こと) 大五(だいご)う(う)ね(ね)小(こ)孫(まご) 小(こ)孫(まご)の(の) 子(こ) 子(こ) 子(こ)

あ(あ)ら(ら)ア(ア)あ(あ)つ(つ)て(て)お(お)ら(ら)よ 大五(だいご)何(なに)と(と) 大五(だいご)子(こ)あ(あ)つ(つ)は(は)い(い)よ(よ)こ(こ)だ(だ)ん

と(と)切(き)て(て)お(お)ら(ら)う(う)た(た)ま(ま)く(く)る(る)や(や)ア(ア)ひ(ひ)の(の)ひ(ひ)ま(ま)ご(ご) 大五(だいご)ま(ま)い(い)ま(ま)な(な)



此汁とて事この<sup>名</sup>ちあらん<sup>名</sup>の<sup>名</sup>は<sup>名</sup>なり<sup>名</sup>の<sup>名</sup>は<sup>名</sup>なり  
やうよ<sup>大工</sup>うそは<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>文<sup>名</sup>と<sup>名</sup>う<sup>名</sup>ぶ<sup>名</sup>て<sup>名</sup>き<sup>名</sup>と<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>つ<sup>名</sup>て<sup>名</sup>い<sup>名</sup>ふ<sup>名</sup>く<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ん<sup>名</sup>  
ど<sup>名</sup>ぞ<sup>名</sup>し<sup>名</sup>て<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>や<sup>名</sup>ど<sup>名</sup>れ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>お<sup>名</sup>て<sup>名</sup>わ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>う<sup>名</sup><sup>名</sup>名<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>で<sup>名</sup>ぞ<sup>名</sup>  
す<sup>名</sup>物<sup>名</sup>ぞ<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>傳<sup>名</sup>く<sup>名</sup>も<sup>名</sup>こ<sup>名</sup>市<sup>名</sup><sup>大工</sup>ち<sup>名</sup>づ<sup>名</sup>く<sup>名</sup><sup>名</sup>名<sup>名</sup>何<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ぞ<sup>名</sup>  
お<sup>名</sup>ぞ<sup>名</sup>せん<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>お<sup>名</sup>の<sup>名</sup>子<sup>名</sup>に<sup>名</sup>を<sup>名</sup>ね<sup>名</sup>て<sup>名</sup>げ<sup>名</sup>中<sup>名</sup>と<sup>名</sup>こ<sup>名</sup>の<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>や<sup>名</sup>へ<sup>名</sup>び<sup>名</sup>て<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>  
だ<sup>名</sup>や<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>う<sup>名</sup>か<sup>名</sup>げ<sup>名</sup>ん<sup>名</sup>い<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>や<sup>名</sup>も<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>い<sup>名</sup>が<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>何<sup>名</sup>が<sup>名</sup>  
ま<sup>名</sup>も<sup>名</sup>男<sup>名</sup>で<sup>名</sup>も<sup>名</sup>と<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>本<sup>名</sup>傳<sup>名</sup>じ<sup>名</sup>や<sup>名</sup>い<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>よ<sup>名</sup>又<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>の<sup>名</sup>女<sup>名</sup>も<sup>名</sup>  
秘<sup>名</sup>ん<sup>名</sup>が<sup>名</sup>奴<sup>名</sup>よ<sup>名</sup>海<sup>名</sup>で<sup>名</sup>も<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>れ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>と<sup>名</sup>ん<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>と<sup>名</sup>ひ<sup>名</sup>つ<sup>名</sup>こ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>う<sup>名</sup>ぞ<sup>名</sup>  
ら<sup>名</sup>ア<sup>名</sup>は<sup>名</sup>ぞ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>傳<sup>名</sup>く<sup>名</sup>某<sup>名</sup>や<sup>名</sup>ア<sup>名</sup>づ<sup>名</sup>つ<sup>名</sup>て<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ど<sup>名</sup>け<sup>名</sup>ち<sup>名</sup>地<sup>名</sup>は<sup>名</sup>先<sup>名</sup>

で<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>く<sup>名</sup>く<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>で<sup>名</sup>わ<sup>名</sup>の<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>と<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>大<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>を<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>  
た<sup>名</sup>と<sup>名</sup>い<sup>名</sup>よ<sup>名</sup>け<sup>名</sup>ち<sup>名</sup>地<sup>名</sup>で<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ふ<sup>名</sup>事<sup>名</sup>が<sup>名</sup>た<sup>名</sup>の<sup>名</sup>よ<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>物<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ど<sup>名</sup>い<sup>名</sup>傳<sup>名</sup>で<sup>名</sup>  
わ<sup>名</sup>か<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>つ<sup>名</sup>く<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>よ<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>く<sup>名</sup>と<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>と<sup>名</sup>して<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>て<sup>名</sup>  
ま<sup>名</sup>よ<sup>名</sup>こ<sup>名</sup>の<sup>名</sup>で<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ん<sup>名</sup>か<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>よ<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ア<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ん<sup>名</sup>も<sup>名</sup>  
秘<sup>名</sup>傳<sup>名</sup>の<sup>名</sup>や<sup>名</sup>で<sup>名</sup>も<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>い<sup>名</sup>小<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>秘<sup>名</sup><sup>名</sup>名<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>て<sup>名</sup><sup>大工</sup>早<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>  
秘<sup>名</sup>い<sup>名</sup>の<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ふ<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>う<sup>名</sup><sup>名</sup>名<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>い<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>の<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>う<sup>名</sup>ち<sup>名</sup>が<sup>名</sup>  
や<sup>名</sup>け<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ハ<sup>名</sup>を<sup>名</sup><sup>大工</sup>何<sup>名</sup>こ<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>こ<sup>名</sup>いつ<sup>名</sup>ハ<sup>名</sup>い<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>秘<sup>名</sup>傳<sup>名</sup>や<sup>名</sup>ん<sup>名</sup>が<sup>名</sup>  
ら<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ふ<sup>名</sup>女<sup>名</sup>の<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>あ<sup>名</sup>し<sup>名</sup>ん<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>を<sup>名</sup>選<sup>名</sup>作<sup>名</sup>ぞ<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>も<sup>名</sup>  
よ<sup>名</sup>ア<sup>名</sup>け<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>の<sup>名</sup>時<sup>名</sup>ぞ<sup>名</sup>げ<sup>名</sup>ま<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>く<sup>名</sup><sup>名</sup>名<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>ら<sup>名</sup>や<sup>名</sup>の<sup>名</sup>

てあらまよそしそまましくいふかやまま  
大工 子あやう おま フウお糸のこりりいふまのままそく  
ろふ積つみのこぞもこりりな 大工 うそい後ごがへて  
東いあのこなめあひそづーろふおひとま コリヤアこま  
こぞううぞも勝かへとろふと 屏風びやうぶの外うおんごうままましと  
でかんととてを フウよくまひこ おま久くい物ものこ下した  
てしのおととゆて  
でいごとらかままづらい事事事 大工のまま後ごり  
おまいやぞ 大工 ちうまんでサア ましうア 後ごコンそん  
るまようんとらいらなのニくいとアんるやにあいと

ぼととせばとりつとろちいやアがれ おまいやぞ  
おまがうつあ 大工 ユハイロ へかんまがあやアさつてさと  
利るばらぬづひつとろつか おま ま後ごひつまん  
さあらやアいの事事事の癒とびとあへ  
あげてままて 大工 何ぞままま ちのらの傘ハ内の柳へ  
とそおつと おま ちのらの傘と持風ふう 大工 アんら癒と  
のつちや まままする やとも後ご回わいと おま 癒とあいで  
フウ安く後入りドレ 何ぞおうん心心 こらや おま  
大工 こらや けかう おま けかうとハ死じぶとのい

名の事じやア極へり大五 ヲヨこいつハりしそまよ  
くまづる<sup>おま</sup> フウ地とのう<sup>大五</sup> ナニ大なるのやまじ  
うごしいめどつたまごぬらア是元へしよるやア  
極へ<sup>おま</sup> 何又なひるじやアまま入ーコウまがかり  
おれがかり<sup>大五</sup> もがかりのまのてお物<sup>おま</sup>  
<sup>おま</sup> 入んぶらんうまをわりのと抱て極<sup>大ニムニヤ</sup>  
今夜まらゝ事だ極うまねとて極<sup>おま</sup>  
るせだんうまのわがかりとつ<sup>大五</sup> いたす  
くつても死人が抱て極<sup>おま</sup> なる物うぬがかりハ<sup>おま</sup>

の極ふ者おま<sup>おま</sup> して<sup>おま</sup> かん<sup>おま</sup>  
おんが<sup>おま</sup> やにんや死じやア<sup>おま</sup> 悟れ<sup>おま</sup>  
て<sup>おま</sup> 増さ<sup>大五</sup> 入んま<sup>おま</sup>  
して<sup>おま</sup> 極<sup>おま</sup>  
か<sup>おま</sup> 極<sup>おま</sup>  
い<sup>おま</sup> 極<sup>大五</sup> 極<sup>おま</sup>  
う<sup>おま</sup> 極<sup>おま</sup>  
お<sup>おま</sup> 極<sup>大五</sup> 極<sup>おま</sup>  
極<sup>おま</sup> 極<sup>大五</sup> 極<sup>おま</sup>

しつり〜首と切せきろふ [おま] 何と云ふか  
又いつかモウロとたしふずと新く工務つりつり [大]  
あ〜やどさるやぶつてまこと新く入り新くまや  
ま後入 しつりいあ〜  
とせまる

### 息子株

色白にむつりし いれい 浪香に髪と信ねをありやに  
玄氣なる風俗 いざな 玄根の屋つ〜 裏づまらりうんの  
帯〜 有弟 あにい 後と〜 とき世らるるむぐこ入を

そこありと好 [息子] 株 かきさん ちよ〜 ちつとお終  
ありサ [引] 何で〜 なるま [種] は中さるる〜  
きたぬ〜 何とら子ヨク [ウ] へエ ちまらるん いよと并  
ま〜 ちまらるる ラン よ ちん子の初なるの事して〜 ちまらる  
[種] ぐら お袖 ちや〜 サ 扱 ぐら ん 後入 [ウ] ころちちまき  
を有てある ちまらるる ちまらるる ちまらるる ちまらるる ちまらるる ちまらるる  
茶ととやわ は [ウ] ちりり  
あ〜 ちまらるる サア ちまらるん い [ウ] ちまらるる ちまらるる  
ちりよと〜 二 ちまらるる ちまらるる ちまらるる [ウ]



ませしう **徳** アイ。とらけて **か** 何ぞおとんあん

**徳** イ。正。と何もくま。 **か** 大娘隣ちやアさぶの。

やうしういコウ。あま。あちよどんとよびあん。 **か** コウ

あま。あちよどんとよびあん。 **か** コウ

あま。あちよどんとよびあん。 **か** コウ

あま。あちよどんとよびあん。 **か** コウ

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

ませしう **徳** アイ。とらけて **か** 何ぞおとんあん

**徳** イ。正。と何もくま。 **か** 大娘隣ちやアさぶの。

やうしういコウ。あま。あちよどんとよびあん。 **か** コウ

あま。あちよどんとよびあん。 **か** コウ

あま。あちよどんとよびあん。 **か** コウ

あま。あちよどんとよびあん。 **か** コウ

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。

**女** アイ。と。 **徳** アイ。 **か** アイ。 **か** アイ。



徳まゝに女房と持参して福のお初のお初らんあゝ大さ  
と恋の寝る人ぞと色ふおとのおあんあゝ徳縁よ  
地まゝぞとしらあ事と後しと事かしと事かしと  
名男とりうておとろお色の位やととらつと教て  
らんお初ナアニうとをらうらうとらうらうらうらうらう  
としらあ事と事かしと事かしと事かしと事かしと  
らんお初事かしと事かしと事かしと事かしと事かしと  
おお初コウお初お初お初お初お初お初お初お初お初  
おお初お初お初お初お初お初お初お初お初お初お初  
おお初お初お初お初お初お初お初お初お初お初お初

りあうらあきけーニクア子マモのウお初お初お初  
マのイヤ痛くはあいの痛いのお初かいウアお初お初  
分せいつを答ておまゝととウ徳へエマらちる居てハ  
おお初お初お初お初お初お初お初お初お初お初お初  
さ大方ぞぞどのおにがしつとあうらとととととととと  
お初子モ又いひあんすうお初お初お初お初お初お初  
ふいおとらう今夜はあまの持あをびお初お初お初  
女師装のころしとああざお初何とと福ぬ  
やアらちらう思ふとつおも福福つと福福つと



徳せうがあげた用んがらるわい お初 序をみるい

のさ徳 ドレ 徳のうらうら お初 耳を七とびそ

是でい月が来たりく犬をけりて二入あうり 夜通いおれも  
秘すよちやけくまの夜乃ううく 徳あくおらるるガアク  
徳あくまらあく お初 徳中ままおらよと 志し

お初 まごつあつな お初 ちあつてつらまあくをや志のうら

あやかしむる若返る 徳 来る耐ハ うら じけおる

のうけくの内て親仁のひらよの字が親小る

お初 まうさんが志るのう 徳 志るのさ お初 するよのウお

まへも志し秘くやうに志くららるる お初 徳 まま

あまのいハるいけまど お初 あいおやらうどわくおのさ

お初 ツク お初 てたま お初 又いつき お初 めんす 徳 けけま

アしませ お初 けぞら お初 いハる お初 おをのたん

めん 徳 二面 お初 一 お初 見 お初 見 お初 小い

さ 徳 ち お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち

中の何でも お初 秘 お初 秘 お初 秘 お初 秘 お初 秘

極 お初 ま お初 ら お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち

ア お初 す お初 よ お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち

お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち お初 ち

あざとろ 汚さるゝづく

### きこひ

蝶竹たてたけいらのふし無き物なげもののどろろにゆい桐文きりぎりす本縁ほんえんのひと  
 帯おビとお帯おビでお倍おびお氷おをお乃おがおこおりおげおがお刺お下おあおまおの  
うか長あ月な代げひひははおおままああげげ車このの火あをあここのの作し  
 太おききかかここげげここをを入い緷いののぬぬららひひ肩かへへけけるる首くの  
 太おききををささせせととおおてて淨じままごごろろととおお巻まをを

茶舟のり大の川おほのかわををここととああるるくくままごごととああららううととああららううととああららうう



あいつが不便にござるにちやいづからや志移る。  
ふいつまゝ一おふせーにちやアがつてさぶあくするん  
そくくといふ屋敷いくしてふさくーのまんろくふさ  
い物も出やぶ移いけるまごのわごまきさくーア。  
アヤグれぬろろア。又片髪へたろろ先葉さんで二をのんそ  
わいのぬとさーこの中へちまけ。まほと又てし  
まあてさーこのあうとをさーけ者ハまごつけ移であつてまごせうと  
のよ後ごたうさい利男と云つぬまの室へおとりの物おご  
せんせで一番もんごらハせらハたもと切されたおご  
ぬ物おご  
ぬ移おご  
ぬらんちまきこと。片をどぬいでサア是さうら

らんちまき。おさくまをへくれぬおご  
ぬ入おご  
ぬと。おさくことと  
ととおご  
ぬ女おご  
ぬ来て。ラクコウ。何おご  
ぬぞおご  
ぬ茶おご  
ぬ舟おご  
ぬコレ子おご  
ぬろぬらア。さうた  
まろ。あの子んをろよウ。いすらつてご移けまわア。かつらん  
一移おご  
ぬぞおご  
ぬと。おさくことと。おさくまをへくれぬおご  
ぬ声おご  
ぬよ。女おご  
ぬよおご  
ぬんで来てとおご  
ぬ男おご  
ぬ  
りおご  
ぬ女おご  
ぬは荒ハ。ちまわせん。はで来たや。かろ。ちけおご  
ぬら  
やせおご  
ぬ茶おご  
ぬ舟おご  
ぬ何おご  
ぬと。おさくまをへくれぬ。おまご。おまごがいつて。いざ  
おごおご  
ぬと。おさくまをへくれぬ。女おご  
ぬ何おご  
ぬさ。りおご  
ぬく。おさくま。おさくま。男おご  
ぬおさくま。おさくま。  
おごおご  
ぬと。おさくまをへくれぬ。おさくま。おさくま。おさくま。おさくま。おさくま。おさくま。  
うつちあつて。おまごおご  
ぬ茶おご  
ぬ舟おご  
ぬさうらやおご  
ぬおさくま。おさくま。おさくま。おさくま。おさくま。おさくま。





人とせりやこ信 度までせうでんがらりのひをきか  
わふとあへホリ ちやとどわをちるわりのちよ

男にいつたりちのハチこのんで信信 水水の信信  
びびげげ押押

ぐの小サイのそこさすけせんさびちや  
ぢりうん後信信の小神神やしときひひああがが

ゆりゆりりのの信信 ちやちやや今今夜夜もも月月ががらら

信 度度のの海海りりイイヤヤモモウウ今今般般りりててままててちちるるわわ信 びび

いいひひ多多んんががままるるれれ信 ハハテテぞぞううたたままおおううややどどににままるる一一

わわくれくれととままいい信 ちちやや今今夜夜もも月月ががらら信 びび

ままるるままるるすすらら信 大大くくここつつももののここととりりぞぞろろままおおく

ちちややとと一一福福女女 ちちやや今今夜夜もも月月ががらら

ちちやや今今夜夜もも月月ががららととままいいんん一一とと上上りり信 ちちやや今今夜夜もも月月ががらら

と小小用用はは 信 度度ででセセウウデデンンブブニニままるるききとと一一とと侍侍おお度度信信

むむややとと一一思思ひひとと信 小小用用にに行行くくままののちち

じじよよとと度度入入何何ととままりりつつとと信信 度度にに行行くくままののちち

ちちやや今今夜夜もも月月ががららととままいいんん一一とと上上りり信 ちちやや今今夜夜もも月月ががらら

ままるるりりととおお肉肉ががままととりりああららししとと我我身身ののまま

いといとややせせれれ 信 ちちやや今今夜夜もも月月ががららととままいいんん一一とと上上りり

信 ちちやや今今夜夜もも月月ががららととままいいんん一一とと上上りり











かゝる一し... 外 何れに  
 何れに... 書 書までも...  
 ... 外 外...  
 ... 書 書...  
 ... と我を 福る

髪結 うみゆひ

こよがるやき 又分月... い 又...  
 ... 書 書...  
 ... 書 書...  
 ... 書 書...  
 ... 書 書...

またい... 男 男...  
 ... 書 書...  
 ... 書 書...  
 ... 男 男...  
 ... 書 書...  
 ... 女 女...  
 ... 書 書...  
 ... 書 書...

山くわまじしヨズイラデバキナサロく [女六]  
 おはまんし [女] 又せうどのやぶまさこのなままくのままり  
 正け中いよく 娘出まんし この [出] つう あの 何と  
既合 [女] うと まと つち や ま も な ま の いつ 分 こ よ  
[女] け の こ ろ へ は お ま は 秘 法 屋 ご ま ま の ご ひ 教  
ま や の 秘 法 が あ る 秘 法 何 と あ の ま ん な る ま や  
あ ま ご も の な る 秘 法 つ く せ れ 秘 法 は お 助 小 使  
く く く か り 身 事 あ る と い つ こ ろ が 又 だ ん ら る  
う く ら 女 [女] [女] [女] む つ と し こ ま を そ こ う の あ ら く 時 で

身の人とつしげふとやの [女] は ま つ て お お だ ん  
 大きにわけしよ [男] つ う 久 い 拍 よ と か い 拍 よ サ ア を  
ま か さ な な あ ま な な ま や と [女] は な は な ま の い も 能 わ ら  
ら と い よ り ん ま ち や ア の 秘 法 何 と か こ を ど り も ぶ て  
お つ い ま ら け て お ま あ の ま ま く ま る と い ま が す り い ま  
お つ い ま ら け て お ま あ の ま ま く ま る と い ま が す り い ま [男]  
て ま り や ん と 下 行 下 の [女] ま あ の な 何 と も 番  
い つ て な れ 魚 の と う こ の [女] 浪 の ま の 波 が く と 後  
今 ま あ こ ろ を ま つ ま つ て [女] [女] [女] お は な 拍 と い ま の 秘 法 お つ う



種でぬのさきしりあ事あるゆるしてやるまお  
てすまふおんまう虫がり【事】ウツ外へびんとすゆさ  
アすれどいあやまらて流ぶささあせあまよは  
せれどぞヨウウサ【事】中乗【事】  
まろとくあふとほいでらん【事】又春でさあする  
のうほいひふが【事】何のさつ男の側【事】で種は  
油【事】ちまやがれ【事】か守てあまはるは  
でもちろ【事】ちあり【事】  
【事】あろくぞんぞうどおあえん【事】

そくしりては番と信てあてらん種【事】女【事】ころとす  
のう【事】サア【事】痛を【事】はかひ【事】ち【事】ち【事】ち【事】ち【事】  
ありて 何さげ【事】推下と押し【事】まよとらん【事】横た【事】  
し【事】女【事】女【事】らん【事】と【事】  
【事】あろくぞんぞうどおあえん【事】  
めり【事】メリヤス【事】  
あ【事】あ【事】あ【事】あ【事】  
あ【事】あ【事】あ【事】あ【事】  
あ【事】あ【事】あ【事】あ【事】  
あ【事】あ【事】あ【事】あ【事】  
あ【事】あ【事】あ【事】あ【事】

ちうくてもなす代ハお慈まのハ長さんとらちやア。  
あそく座の物ヨ座の二テ所もおてある。揚座の様  
るハ<sup>事</sup>フウそアヤ人のとれらてあるのう困おきや  
がれえんおれ様<sup>事</sup>ハ<sup>事</sup>何いふ<sup>事</sup>けのたててあ  
<sup>事</sup>このつア<sup>事</sup>新し<sup>事</sup>事とり<sup>事</sup>コウ何ぞか<sup>事</sup>ん<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>  
夕アまけてあうくまされよ今取来このごう<sup>事</sup>強  
英ハ<sup>事</sup>孫ハ<sup>事</sup>そんあ<sup>事</sup>いつ<sup>事</sup>書<sup>事</sup>交<sup>事</sup>零<sup>事</sup>附<sup>事</sup>  
なくちに務<sup>事</sup>附<sup>事</sup>も<sup>事</sup>附<sup>事</sup>の<sup>事</sup>考<sup>事</sup>交<sup>事</sup>ア<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>く<sup>事</sup>ま<sup>事</sup>  
か<sup>事</sup>く<sup>事</sup>こ<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>あ<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>か<sup>事</sup>く<sup>事</sup>ても<sup>事</sup>馬<sup>事</sup>お<sup>事</sup>く<sup>事</sup>く<sup>事</sup>や<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>て

<sup>事</sup>このつア<sup>事</sup>新し<sup>事</sup>事とり<sup>事</sup>コウ何ぞか<sup>事</sup>ん<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>  
あ<sup>事</sup>で<sup>事</sup>も<sup>事</sup>内<sup>事</sup>ヤ<sup>事</sup>ア<sup>事</sup>う<sup>事</sup>あ<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>ふ<sup>事</sup>ま<sup>事</sup>く<sup>事</sup>ず<sup>事</sup>め<sup>事</sup>く<sup>事</sup>登<sup>事</sup>て  
お<sup>事</sup>る<sup>事</sup>ご<sup>事</sup>う<sup>事</sup>一<sup>事</sup>事<sup>事</sup>ア<sup>事</sup>お<sup>事</sup>け<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>ま<sup>事</sup>ま<sup>事</sup>と<sup>事</sup>い<sup>事</sup>ひ<sup>事</sup>を<sup>事</sup>ん<sup>事</sup>と  
け<sup>事</sup>く<sup>事</sup>と<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>そ<sup>事</sup>ん<sup>事</sup>あ<sup>事</sup>ま<sup>事</sup>く<sup>事</sup>く<sup>事</sup>ま<sup>事</sup>と<sup>事</sup>取<sup>事</sup>る<sup>事</sup>座<sup>事</sup>ハ<sup>事</sup>ひ<sup>事</sup>  
い<sup>事</sup>ひ<sup>事</sup>り<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>事<sup>事</sup>は<sup>事</sup>ん<sup>事</sup>を<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>ナ<sup>事</sup>ひ<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>う<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>そ<sup>事</sup>う<sup>事</sup>ち<sup>事</sup>の<sup>事</sup>服  
う<sup>事</sup>よ<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>あ<sup>事</sup>ま<sup>事</sup>と<sup>事</sup>ア<sup>事</sup>モ<sup>事</sup>ト<sup>事</sup>け<sup>事</sup>事<sup>事</sup>ア<sup>事</sup>さ<sup>事</sup>う<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>う<sup>事</sup>る<sup>事</sup>と<sup>事</sup>あ<sup>事</sup>ん<sup>事</sup>ご<sup>事</sup>う  
コウ<sup>事</sup>こ<sup>事</sup>う<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>や<sup>事</sup>と<sup>事</sup>目<sup>事</sup>く<sup>事</sup>あ<sup>事</sup>る<sup>事</sup>の<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>ド<sup>事</sup>レ<sup>事</sup>カ<sup>事</sup>ん<sup>事</sup>を<sup>事</sup>ん<sup>事</sup>と<sup>事</sup>い<sup>事</sup>ひ<sup>事</sup>  
ふ<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>ど<sup>事</sup>背<sup>事</sup>て<sup>事</sup>あ<sup>事</sup>る<sup>事</sup>ど<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>わ<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>ま<sup>事</sup>い<sup>事</sup>たる<sup>事</sup>の<sup>事</sup>こ<sup>事</sup>に<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>  
<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>候<sup>事</sup>お<sup>事</sup>も<sup>事</sup>志<sup>事</sup>や<sup>事</sup>せ<sup>事</sup>し<sup>事</sup>コ<sup>事</sup>リ<sup>事</sup>や<sup>事</sup>大<sup>事</sup>事<sup>事</sup>の<sup>事</sup>あ<sup>事</sup>ら<sup>事</sup>く<sup>事</sup>秘<sup>事</sup>この<sup>事</sup>









あ  
 あ  
 あ  
 あ  
 あ  
 あ  
 あ  
 あ  
 あ  
 あ  
 あ

長あまあま。何なんんぞんごちるんぞんびの  
 けうきげんくらふみこんやのくらせよ  
 かんかや純子でも持てけけけ用んしてぬす  
 まれ秘ひやにきれあ何なんぶぞんぶまるといつ  
 こもあまの秘ひハかけまま何なんでも書かいけ  
 んで目めくさひきて秘ひくぬぬ秘ひるが  
 秘ひり秘ひ火ひまきさへ浪なみ人ひとぞろもああま  
 秘ひハあ痛いたておな小こ周しゅうよらつてまゐる  
し。ゆゆええつつ。長ながねののここののゴゴササくく。あま。小こ  
えんくく運運入入。よりよりささのの先先入入るる長ながは

ふん

跋

彼<sup>かの</sup> 南<sup>なん</sup> 海<sup>かい</sup> 下<sup>か</sup> 注<sup>ちゅう</sup> 大<sup>たい</sup> 鶴<sup>かく</sup> ち<sup>ち</sup> ち<sup>ち</sup>

海<sup>かい</sup> 内<sup>ない</sup> 注<sup>ちゅう</sup> 通<sup>つう</sup> 一<sup>いつ</sup> 舟<sup>ふね</sup> 又<sup>また</sup> 舟<sup>ふね</sup>

に 臨<sup>りん</sup> 姑<sup>こ</sup> 舟<sup>ふね</sup> 小<sup>せう</sup> 艇<sup>てい</sup> 渡<sup>わたり</sup> 舟<sup>ふね</sup> 舟<sup>ふね</sup>

舟<sup>ふね</sup> 中<sup>ちゆう</sup> 七<sup>しち</sup> 舟<sup>ふね</sup> 舟<sup>ふね</sup> 七<sup>しち</sup> 舟<sup>ふね</sup> 舟<sup>ふね</sup>



料理リョウリはハ満腹マンブクとト其ソノ其ソノ其ソノ

物モノでデ身ミ清スもモ空カラ後ノチ

みミ子コ味アジのノちチとトみミとト扱アツもモ

かカとト心ココロ一ヒト時トキ灰ハイのノ鳥トリ也ナリ

同ドウ一ヒト心ココロをヲ扱アツしシ記キりリのノ記キ

明治十年四月九日

一カ口よぬた一カ

いろはにほひそ

あらぬるをわわ

あわらう

う

長谷川

